

1・——[足三陽経筋の走行とその病症]

1 足太陽経筋

1 走行の特徴

本経筋の走行の特徴は、経脈の膀胱経とは異なり、足から背部を上行中に、夾脊を挟んで上行していることである。またその途中、背部の3カ所で分枝して1つめは肩髃に、2つめは腋下から側頸部と顔面へ、3つめは舌にまで走行している。さらに経脈の膀胱経の走行とは異なり、大腸経・胃経・胆経の3つの経脈の支配領域にもつながっている。

- ①背部では「夾脊を挟み上がる」ので、督脈・夾脊穴・膀胱経を包含した幅広い経筋ラインと思われる。
- ②顔面では「目上網」を形成し、上眼瞼を支配している。
- ③背部から分枝して、腋下から缺盆（胃経）、完骨（胆経）、また顔面に達している。
- ④背部から肩髃（大腸経）に結ぶ。
- ⑤後頸部近くから、舌に分布している。

2 走行（基-19）

足太陽経筋は、足の第5趾（至陰）(①) から始まり、上がって外踝の前（丘墟辺り）(②) に結び、斜めに上行して膝の外側 (③) に結ぶ。

主な経筋ラインは、踵(④)から2つに分かれて、膝窩の外側(⑤)と、内側(⑥)に付着する。

それぞれのラインは大腿後部を並行して上行し、臀部 (⑧) に付着する。さらに「夾脊を挟み」ながら (⑨⑩) 上行し項（後頭骨）(⑫) に達する。

さらに上行して頭頂から顔面に下行して鼻部 (⑬) に結ぶ。ここから上眼瞼を走り目上網 (⑭) を形成し、下行して頬骨部に結ぶ。

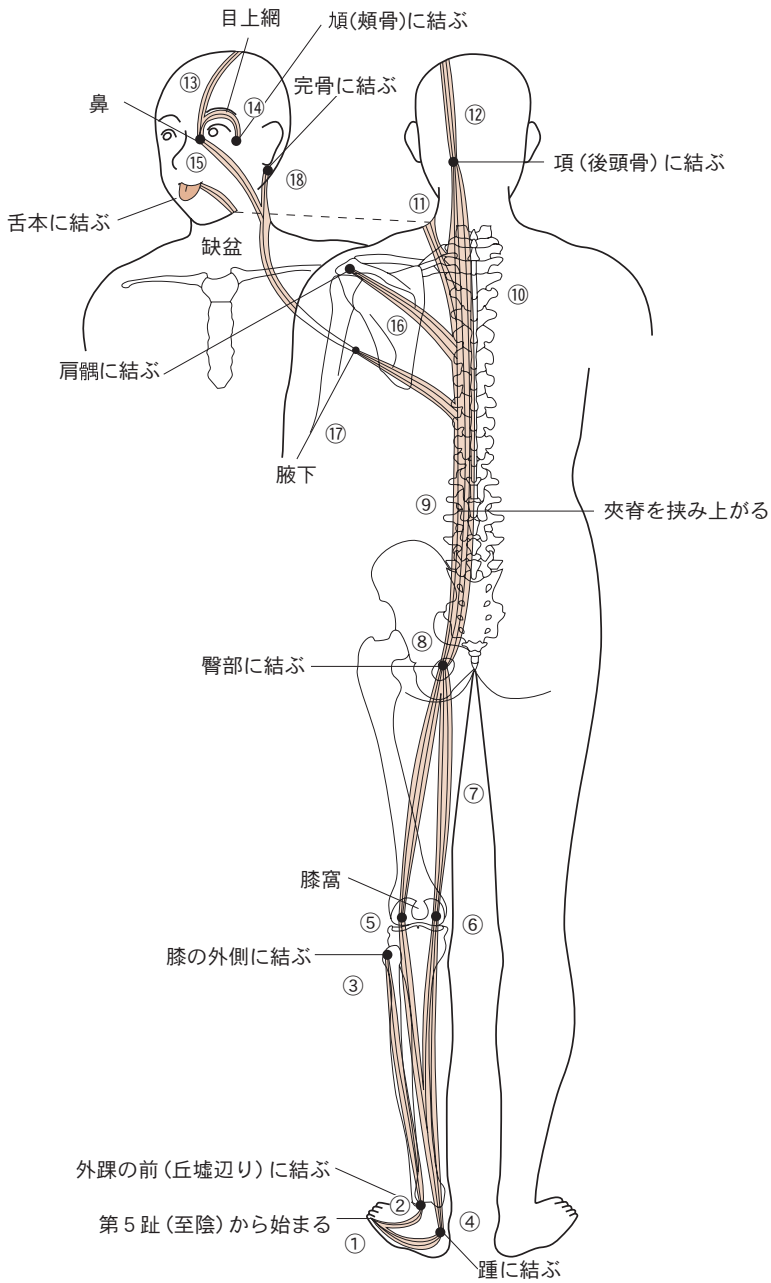
背部を走行する途中で3つのラインが分枝している。

その1つは、背部から分枝して、腋下に入り (⑰), さらに缺盆（胃経）、完骨（胆経）に結ぶ (⑱)。途中で分枝したラインは顔面を上行して鼻の傍らに付着する (⑮)。

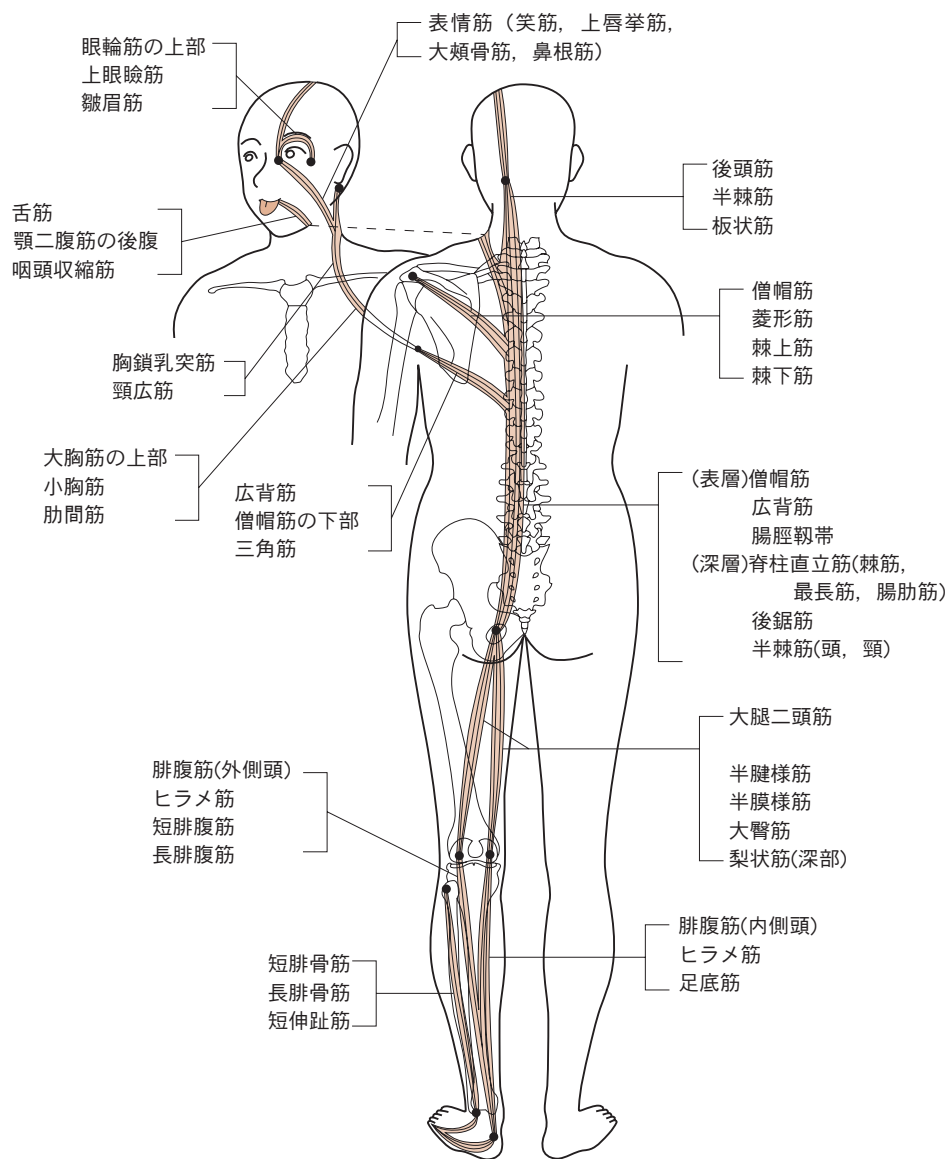
2つめは、背部から分枝し、肩髃に結ぶ (⑯)。

3つめは、背部から舌本に結ぶ (⑪)。

以上の走行中、主に経過する筋肉は基-20のとおりである。



基-19 足太陽経筋の走行



基-20 足太陽経筋の走行上の主要所属筋肉

3 病症

足太陽経筋の走行(基-19)と、本書の前部に添付した全身の筋肉解剖図(基-1)を対比しながら、病症をたどってみると理解しやすいと思われる。本経筋が病むと、その走行上の筋肉や関節、さらに関連する五官にも異常が起ってくる。

走行上の部位には、以下の病症が現れる。